

KSKP

NPO法人 とことこニース

32

市街ではハイブリットカーが走り始めましたね。音がなく静かだと言われていますが、視力障害者や耳が聞こえにくくなってきた高齢者にとってはとても怖いです。

音があると「あつ車だ」と気づき、気をつけますが、車の気配がないと不安で、一歩きの視力障害者は事故にあいやうと思ってしまいます。

世間は静かだと喜ばれても身に危険を感じて歩いている人があります。迷惑にならない程度に音がないかな、いや事故についてからでは遅いのでなんとか考えてほしいのです。

地域では音声信号機の音がやかましいとかで消されることがあります。眼が見えないと音がたよりです。やかましいと思われる音が視力障害者や高齢者にとって安心できる音なんです。早朝や深夜は音を小さくしても消すのだけはやめて下さい。私も音声信号機のおかげで事故から守ってもらっています。それに音声のおかげで自分の歩いている場所がわかります。ありがたいものです。

眼が見えなくなると音のあらがたさ、耳が聞こえないなどやっぱり音のありがたさがしみじみわかってきます。そんな人も地域で一生懸命生きています。

今年は寅ですね。飛躍の年ありますように祈ります。昨年は政権交代で民主党が日本の政治の舵をとりました。法律が、どうなるのかまだわかりません・・・よくなるといなど願っております。

早く生まれ変わった障害者自立支援法が出台してほしいです。地域格差がなくなりますように、障害者が自分に必要なサービスがうけられますように、負担金がなくなりますように、なればいいのにと祈ります。

世の中がひっくり返った

副理事長 坂上 正司

一〇〇九年八月三〇日になにがおこったのか、日本人はまだよくわかつていなうよりです。六十余年続いた官僚主義にノーリーを突きつけて、初めて民主主義を手にした瞬間だということを理解すべきです。つまりこれは革命だったのです。

ハンガリーとオーストリアの国境が解放され、ベルリンの壁が崩れて、チャウシェスクが倒れたときのようなことが起こつてもおかしくなかつたのに、日本では暴動ひとつ記録されいません。官僚が逃げ出したという話も聞きません。それをいじことに官僚主義の巻き返しが起こっています。

与党幹事長への検察の攻撃、政府に対する皇室の名前を利用した宮内庁長官（元厚生労働官僚）の攻撃など枚挙にいとまがないません。まったく日本は平和な国だと思います。

それに対して一九九五年一月一七日になにがおこったのか、私たちはよく知っているつもりです。阪神淡路大震災は人々の命や繋がりをすたずたに切り裂いていきました。

そして、やはり官僚主義が市民に向もしてくれないことを思い知らされた日もあります。

私たちは、官僚を見捨てて自らの繋がりを構築していきました。

被災地内の自立生活センター系の団体や小規模作業所のネットワークを駆使して安否確認、避難、救援活動を行つたのです。

障害者情報クラブでもファックス、パソコン通信やインターネットを利用してこの繋がりに加わり、また、自由に社会福祉協議会や民間浴場と提携して入浴支援システムを構築しました。

私たちがこういう努力をしているときでも、宝塚市の何もしない官僚のひとりは「誰の許可を得てやつていいのか」という意味不明の言いがかりを付けてきました。協力しなくてもいいから邪魔はしないで欲しいものだと思いました。

このときもよく暴動が起きなかつたものです。最近起しつたハチの地震の例を見ても、阪神大震災直後の被災地の状況はまさに奇蹟だったのかもしれません。まず私たちが今、やうなればならないことは、参加することです。

今まで官僚主義の中で考えることを官僚に任せていたことに決別することです。少なくとも現政権は、市民参加を妨げてはいません。前政権のような「なんちやつて市民参加」とは違つています。「私たち抜きに私たちのことを決めるな」と言い続けてきたDPRのスローガンは、今や政府の中でも使われるようになつきました。だから私たちは私たちの主張を言い続けることで実現するチャンスなのです。

といひで、最近、福祉分野においては朗報ばかり伝えられていくのですが、安心ばかりはしてられません。



年末に出された政府の「税制改正大綱」では、明らかに「医療と介護と年金は自己責任でやつてくれ」と言わんばかりの内容です。確かに「障がい者制度改革推進本部」（本部長・鳩山由紀夫首相）が召集され、二十四名の委員のうち十四名が当事者（または家族）という構成は十分に評価できるのですが、政府の「税制改正大綱」をみても保険制度を崇拜する厚生労働大臣の顔を思い浮かべてみても、新しい保険制度創設のアリバイによる疑惑は少なからず残ります。

アイエルセンター
障害者スタッフ
波田野 和彦 作

年末に出された政府の「医療と介護と年金は自己責任でやつてくれ」と言わんばかりの内容です。確かに「障がい者制度改革推進本部」（本部長・鳩山由

障害者の声をもつと

聞いてよヘルパーさん（第一回）

今回は前号より引き続き特集第一回として十一月のヘルパー研修の内容を記事にしました。介護支援センターとのJUJI-O九年度ヘルパー研修として障害者情報クラブ主催のヘルパー研修に参加しました。

第一回 六月十一日（木）

講師 大友 ともみ（ヘルプセンター・フラッグ

当事者コーディネーター）

古谷 かおり（ヘルパー利用者、JUJI障害者スタッフ）
司会者 坂上 正司（障害者情報クラブ 代表）

第二回 十一月八日（日）

講師 大友 章三（JUJI副理事長、ピアカウンセラー）
土井 克哉（ヘルパー利用者、JUJI障害者スタッフ）
司会者 井上 聖（宝塚市会議員、障害者情報クラブ顧問）

～内容～

事前に利用者に匿名でアンケートをとり、アンケートを元に日本介助者に感じている直接言いにくい内容を講師の実体験を交えながらストレートに話をしていただきました。

『再発見でした』

豊中市 大友 章三

今回、障害者情報クラブの講座に参加させていただき、再度、確認したいことがたくさんあります。

自分の生き立ちや自立生活についてたる話をするのも初めてだったが、自分のじいじが車いすで参加の方々に伝わっていいのか、自己満足にならないかが、心配でならなかつたのです。

フレームや資料も作り直しもいろいろなましたが、何回も作り直しをし、最終的には訳のわからないものになってしましました。

自分のことをことさらに原稿にしたり、多くの方の前で話をするのはフレッシュマーがかかるし、伝えようとするほど、ドツボにハマってしまうのです。

多くの小説家や、コワゴエストが自叙伝を書き、それを本屋さんの店頭で売られていくのは、自分にとってありえない話なのです。

私自身、講演の仕事があり、そこでは「人権」とか「障害者問題」などどのようにして面倒臭く、聞いてる人はあくびが出るような話をしてきたようにおもいます。

今回、コーディネーターをしていただいた井上聖さんの導きもあり、同じ舞台で講演をしていただいた、土井さんのトーキングエイドをつかったお話を聞いていて、自分もどうすれば多くの方

が聞きたくなる話が作れるかがわかつたよつの想いがしました。

でも、自分の話がじょうまじ面白く、興味をそそられるものだつたのか、不安がよきものもあります。

自分は、入前でしゃべる仕事をしています。この仕事は、自分にとって「天性」だと思つたこともあります。でもそれは、若じ頃のことだけで、今もまたじ顔が赤くなっているのです。

今回の講座で自分の

伝えたいことを整理して、わかつてもらいやすい話をすることが本当に重要だと再認識させていただきました。

これを契機として、これから「ことじ」に活さんと障害者情報クラブの皆さんに感謝いたします。

大友さん、ためになる

お話をありがとうございました

1)わざました



『ヘルパー研修会の講師をして』

地域で自立生活されているヘルパー利用者 土井 克哉

春に古谷さんが講師をしたので秋には私に回っていましたが分かっていましたが、何を話したりいいのか決まりないまま迎えてしました。

話す直前まで何を話したりいいのかと悩んでいました。時間になり大友さんの話が終わりディスカッションになり私の順番になりました。

初めて自己紹介をして、何で施設を出て自立生活を始めたのが8年前でそれに至る事を持てました。

また、参加者の竹下君の質問により自立生活を始めるにあつての実状や自立生活を始める難しさ、経験談、問題点等の話になりました。それを聞いて障害者が自立生活する大変さをヘルパーが少し知りてくれれば良いかなと思いました。

私にとって良いヘルパーは、障害者の言つ事を聞く事と、断る事がはつきり言えるヘルパーです。

それが少しでも伝われば良いと感じました。講師をしてみて気付いた事は自分も、もっとヘルパーの使い方を勉強しなければならないなと思った事です。

出来ればもう一度やらないと自分の力にならないないと感じています。今回は貴重な体験をありがとうございました。

ヘルパー研修に参加して～参加者編～

★ 高橋 久仁子 もん

当事者の方のお話は具体的でわかりやすかったです。

ヘルパーの方の参加が少なかったのと、ヘルパーさんからの話も、もっとききたかったです。

いつも忙い時、困ったとか、うれしかったとかをきかせてもらいました。困ったとか、うれしかったとかをきかせてもらいました。

いつも機会は、大変に」と思つので、年々回していくうちにあればいいと思います。

★ 長尾 修治さん

障害者の脇役にならざるを得ないのですが、なかなか思つようにならず心苦しいです。

障害を乗り越えられたお話を聞かせていただき、自分自身、頑張っていきたいと思います。

本日はありがとうございました。

★ 西田 京子 サン

障害者の自立といわれている中で問題は多いなと思います。

自立までの失敗した事やしたかったこと今の生活のこととかもうすこし詳しく聞かせてほしかったです。

ありがとうございました。

ヘルパーであり障害者の親であるのでとても関心があり複雑で悩みが多いです。

★ 十川 一郎 サン

土井さん、大友さんの楽しいお話、苦労されたお話をどう

色々と聞くことが出来た研修会でした。

障害者さんの大変さもよりいつそう感じ取れました。

講習会の中でもっとも気になったお話があります。ヘルパー

制度が出来る前と後の話でした。

「ヘルパー制度になる前（ボランティア等）のぼうが介護の質が良かった」と言われた事です。「このように言われないよう⁶に、安全を最優先に細かいことにも気が付くようなヘルパーになりたいと思います。

～最後に他所ではありますがこれから自立したいという事で今回ヘルパー研修に介助者と一緒に参加してくれた、竹下君に感想を書いてもらいました。

『勉強会に参加してー』

他所のヘルパー利用者 竹下 浩介

自分の強い意志があれば、自立生活をすることが出来ることが知ったと同時に、それを実現するためにはたくさんの努力が必要だということがわかりました。

今回の研修会に参加させて頂くまで僕は、障害をもつていての一人暮らしとは、どんなものなのかどうかが全くわかりませんでした。

でも、今回の講師の方のお話を聞きして感じた事は「決して一人暮らしは楽しい」とばかりではない」ということ、「一人暮らしをするには沢山の準備が必要なんだな」ということがわかりました。

一人暮らしをするのに沢山の人の協力が必要なんだということ、その為には色々な場所に出かけて沢山の人と、出会うこと

が大切だと思いました。

確かに両親から離れて自由な生活が送れると思いますが、同時に何もかもが自己責任という事と、特に金銭管理は大切な事だと感じました。

今回の研修会に参加して一人暮らしについて少しは理解できだと思います。これからも色々学んでいきたいと思います。

「体調不良で休まれていた木内さんが一月より

またアイエルセンターに来れるようになりました~

『戻れるきっかけになりました!』

アイエルセンター 障害者スタッフ 木内 佐世美

昨年の十一月頃から、体調を崩し布団での生活が多く、何もする気力が出ず、夜になると明日は、アイエルに行こうと思つのですが、朝になると身体が思うように動かないで、結局休む日が続くようになり、このままでは、いけないとと思いアイエルに辞めるつもりで、電話をかけてみました。すると電話の向こうから優しい声が聞こえ「何かの縁で出会えたのだから」と続ける事を進められ、私なんかでも、お役に立つことがあるのかないのか、半信半疑でしたがもう一度続けて、色々なことにチャレンジしてみようとして、前向きに、考えるようになりました。

体調も良くなり元気になつたと、家族も喜んでくれています。気分的にも明るくなつたように思います。人に私は、恵まれていることは、とても幸せなことだと、かんじました。

そして今現在、皆さんに助けてもらいいながら、自分でもできるという自信が持てる様な事を、見つけていけたらいいなあと、あせらず、急がずマイペースで、長く続けて行きたいと思います。



『電動車椅子の人でもボウリングが

出来る事ってご存知ですか?』

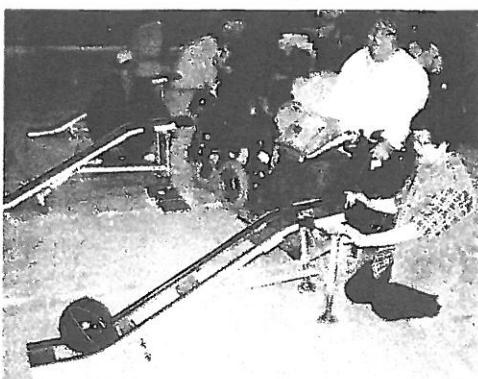
私は、障がい者情報クラブから業務委託を受けて企画部長をやっている土井克哉です。私は普段から電動車椅子を使って生活している障がい当事者です。

今回は、ボウリングの方法をお教えします。ボールを持てないと思っている方がおられると思いますがボールは介助者に頼めば良いし、投げるはどうするかと言えば写真のような台を用意して軽く押せば転がります。ただ、カーブ球は、投げられません。情報クラブではラウンドワンのサービスでガーターなしレーンで主催していますので皆さんそれにこの成績を残されていました。

ちなみに、前回の私の成績は、××ピンであまり良くありませんでした。ニュースが届くところには、次の大会が行われます。さて私の成績は上がっているでしょうか?

良かつたら皆さんも一度
やってみてください。』

アイエルセンター企画部長 土井 克哉



「去年アイエルセンターを卒業された金岡さんから

嬉しい報告を聞きました

『最近ハマッタル』

アイエルセンター元障害者スタッフ 金岡 幸一

皆さんは無沙汰しております、元編集部でお世話になつております金岡幸一です。

現在は(隠居イヤイヤ、そんな歳ではありませんが)アイエルセンターも一応卒業させて頂きもつぱり私用のみに時を過ごしています。さて、私は頸椎損傷で指が全く動かせないのでカメラのシャッターなんてとても押せないだらうと決め付けていた。が、しかし興味はあった。今や携帯電話にカメラは常識だし、私も何とか撮影することは出来る。なら、今度はコンパクトカメラを定かではないが五年前に購入し特にテーマも決めず写しまわしていました。シャッターは指でとはいはず、手首の関節の出っ張った部分でシャッターを切っていました。ただ写しているだけなので三年もすれば「飽きたやつ」になりましたがカメラの事など、頭の中からは消えていましたね。

ところが、昨年某カメラの「イオンや」と見た途端、自

分も一眼レフのカメラが欲しくなるようになってしまった。ついで昨年夏に買っちゃいました。パナソニックのルミックス、でもこれは私にとって失敗でした。理由は後に。むか、さすがに一眼レフ、やはり一味違うナ。って感じで良かつたです。

そして昨年暮れに一眼機種のニキッドを入手しました。素人目にも、両者「社」の違いは分かるもんですね。もっと調べておけばさぞやったと後悔しています。やはり、餅は餅屋さんで力ナ。

現在は野鳥に凝っていますが、過去には花・昆虫・空・雲・風景・動物など写して楽しんでいます。

今年はお爺ちゃんお婆ちゃんを田標に。

一度「毎日放送」みんなの天気に応募しましたといい、連絡があり、その日の放送に採用されました。



皆さん、 よりこへお願い致します。

アイエルセンター職員 木澤 たえ子

去年の五月より週一回、パート職員としてアイエルセンターで、皆さん方のお手伝いをさせてもらっています。

私は、以前すみれ園で、通所療育される父母の同伴児や講演会での託児ボランティアや主婦友達と人形劇をやつたりと、小さなお子さんたちとかかわるボランティアや仕事をしていました。

元気な私でしたが、実母の介護という現実に直面し自分自身が後悔したくないということもあり、ヘルパーの資格をとり介護を精一杯がんばりました。そんな母も 平成十八年に亡くなり十九年には、父も病氣で亡くなってしまい、相次ぐ大切な人達との別れは、私にとり想像以上に辛い出来事でした。

そんな私でしたが、徐々に心も落着き「もう一度働きたい！」という希望がわいてきて、仕事を探している時に巡り合えたのがアイエルセンターでした。

初めて アイエルセンターに行った時、木製の大きなテーブルと回台も並んだパソコンが印象的で、年齢も性別も身体の具合も様々な人たちが、そのテーブルを囲んでとても良い雰囲気

で、ゆったり時をすごしてるのが、私にとってとても気持ち良かったことを思い出します。

でも、心配性の私としては、ヘルパーの資格をとったものの、実際には、実母の介護以外では、経験したことがないので障害のあるかたの介助などできるのかと不安でした。でも、実際に介助をさせられると、直接利用者さんに聞きながらできるので少しずつ安心してきました。

週一日の出勤なので、センター内の仕事やそれぞの方の介助方法などなかなか覚えることができませんが、少しずつ頑張ろうと思ひますのでよろしくお願ひします

半年過ぎた今でも行く度に驚きと感動の日々で自分の心が、少しづつ潤ってゆくを感じます。

これからもいろんな出会いを大切に自分自身のありのままの姿を認め、皆さん方と共にゆっくりでもいいから自分の心も大事に育てていけたらいいなあ… と思ひています。
もちろん 苦手なパソコンや引っ越しの運転もがんばって練習しますので、皆さん 教えてくださいね…

アイエルセンターにキリンの自動販売機を設置しました。

[F-121E]コーラー

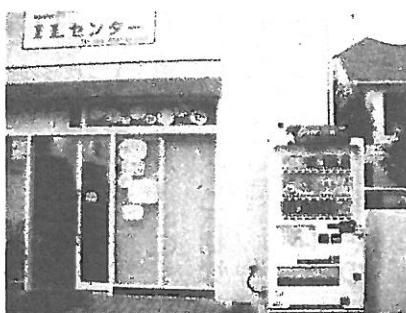
小岩井ココア等は、一一〇円

[生茶] の ペットボトル

(五〇〇ミリ) は、一四〇円

東公民館前なので、ご利用の時、

咽喉が乾いた時、休憩したい時に
でもご利用して頂けたらなあと
思いますので、使って下さいね。
宜しくお願いします。



アイエルセンターは障害者の小規模作業所です
アイエルセンターでは、お手伝いしてくれるボランティアさん

を募集しています。

- ・アイエルセンターで障害者スタッフのお手伝い
- ・バザーの出店時お手伝い

アットホームな雰囲気アイエルセンターで
みんなでわいわい楽しくボランティアしませんか?~

バザー商品提供のお願い

ご家庭で眠っている品物等がありましたら、ご提供お願い致します。
ご連絡いただければ幸いです。お受け取りにも、お伺いいたします。

日用品	キッチン用品	インテリア小物	服飾雑貨	衣料品（新品）
石鹼	食器	花瓶	ベルト	レディース
シーツ	タッパー	民芸品	バッグ	メンズ
タオル	鍋	時計	手芸小物	キッズ

（バザー 参加 年間イベント）

☆宝塚市障害者記念事業 ☆長尾のつどい（宝塚地域まつり）☆フレミラ秋祭り
ご連絡は、 I Lセンターまで
宜しくお願い致します。

〒665-0882 宝塚市山本南2丁目6-5

TEL&FAX 0797-82-2233

障害者スタッフ募集

特定非営利活動法人「ことじ」

障害者情報クラブ アイエルセンター
センター長 石川 博之
一度アイエルセンターに遊び来ませんか？

ヒーヒーヘルパー募集

登録ヘルパーを募集しています。

アイエルセンターは、宝塚市の山本駅からすぐ、東公民館前という素晴らしい場所で活動している小規模作業所です。アイエルセンターでは、共に働く仲間を募集しております。

手帳お持ちの方で、働く意欲がある方・自分にどんな事ができるか自信のない方。そんなあなたをお待ちしております。

見学も大歓迎！

月曜日～金曜日 10時～17時
祝日、年末は、休ませて頂きます。

障害者情報クラブ介護支援センター「ことじ」

代表 中山 翁江

〒665-0035

宝塚市逆瀬川一丁目一四六 なみきビル105号

是非アイエルセンターを「紹介下さい
知りませんか？
又、お近くであまり外出されない方」「存

西公民館の自動販売機をご利用ください

宝塚市立西公民館（阪急今津線小林駅から徒歩2分）の三階・レクルームBの前に設置されている大塚製薬の自動販売機は、管理のジャパン・ビバレッジ（旧：ユニマックス）との協力により収益の一部が障害者情報クラブの運営費として一九九四年四月より寄付されています。しかし、三階のわかりにくい場所に置かれているため、なかなか売り上げがあがらず、収益が伸び悩んでいます。みなさん、西公民館をご利用の折りには、是非、大塚製薬の自動販売機をご利用いただき、当クラブを応援して下さい。

☆ アイエルセンター事務局より

雲雀丘学園 様
兵庫県阪神北県民局 様
宝塚市健康福祉事務所 様
宝塚市善意銀行 様

御寄付ありがとうございました。

バザー用品を下さった方々、ありがとうございました。
今後とも、よろしくお願ひ致します。

NPO法人とことこニュース

編集人 NPO法人とことこ

所在地 〒665-0882

兵庫県宝塚市山本南2-6-5

NPO法人とことこ障害者情報クラブ I L センター

TEL&FAX 0797-82-2233

E-MAIL sjc11@hotmail.co.jp

【障害者情報クラブへのご寄付、会費の振込みの方は】

郵便口座 14360-43110611 障害者情報クラブ

銀行口座 三井住友銀行 逆瀬川支店 普通 3566211

障害者情報クラブ

【アイエルセンターへのご寄付の方は】

池田銀行 山本支店 普通 28004

特定非営利活動法人 とことこ 理事長 中山君江